

お盆・茶話会・彼岸会等ご報告、音楽祭・茶話会・連続研修・門徒会費収納等ご案内

彼岸を終え、金色に色づく稲穂に収穫の季節を知らされます。みなさまご多忙の折り、本堂大屋根改修について会議・説明会への参加など、お力添えをくださいますこと、有難く、身の引き締まる思いです。

8月、初盆のご法要や明行寺での盂蘭盆会、各地の納骨堂やお堂へのお参りのご縁が、お蔭様で無事に勤まりました。茶話会の「おさがりキャンドル」作りでは、お孫さんの工作の宿題に提出する、と初参加された方も。9月には、蓮華の会の会費収納と秋季彼岸会が勤まりました。御講師は立花慈友師。「3と4」という数字を例に、自分の都合でコロコロと意見を変える、分別に覆われ真実の無い私についてやさしい言葉でお取次くださいました。蓮華の会のみなさまの手による美味しいおはぎは、ご法座に欠かせないおみやげです。湯谷南・真弓のみなさま、有難うございました。茶話会には「整骨院ふじた」の東志先生が登場、トレーニングとストレッチを教わって一同スッキリ！子どもたちも参加する楽しい会となりました。

さて、10月には「蓮華の会主催・第3回うたう明行寺秋の音楽祭」が開催されます。例年満席御礼です。今年も盛りだくさんの内容。詳細を別紙にてご確認の上、ご希望の方はお早めにお申し込みくださいませ。また、11月には下期門徒会費収納会がごございます。ご助力を賜りますようお願い申し上げます。会費の用途については3月の門徒総会で毎年ご報告しております。追ってご確認くだされば幸いです。その他、4年ぶりの連続研修会の開催や、茶話会で2年ぶりとなる映画上映もごございます。ぜひ一緒ください。

日が短くなり、寒い季節へとむかいます。お互い様に声を掛けあい、身を大切に参りましょう。 称名



盂蘭盆会法要のご縁



おさがりキャンドル制作



立花先生のご法話をお聴聞



茶話会で身体スッキリ！



お供えの一部はおすそ分け



坊守が講演のご縁に



おはぎ作り・休憩中



花言葉は「野生美」

〔10～11月の行事予定〕

- 10月6日（金）19時～ YOJYOMON -夜聴聞- @明行寺 ※どなたさまもご自由にお参りください
- 10月7日（土）13時半～ 元中通組御消息披露法要 @西教寺 ※役員方と住職でお参りしますが、希望者はぜひ一緒に
- 10月14日（土）午前～ 鑽仰講座 @福岡教堂 ※蓮華の会の担当役員の方、お願い申し上げます
- 10月15日（日）14時～ 第3回 うたう明行寺 秋の音楽祭 @明行寺 ※定員：先着40名、お申込期限：10/13（金）
- 10月21日（土）13時半～ 下川東組仏教婦人会追悼法要 @西教寺 ※蓮華の会の担当役員の方、お願い申し上げます
- 10月22日（日）14時～ 本堂大屋根改修説明会 @明行寺（上内、南関、あとさん講）※参加希望者はお知らせください
- 10月28日（土）19時～ 第2回下川東組連続研修会 @明行寺（ご講師：佐々木高彰師）※参加希望者はお知らせください
- 11月4日（土）13時半～ 元中通組御消息披露法要 @傳敬寺 ※役員方と住職でお参りしますが、ご希望の方はぜひ一緒ください
- 11月18日（土）19時～ 第3回下川東組連続研修会 @安養寺 ※参加希望者はお知らせください
- 11月19日（日）14時～ 茶話会「喫茶去・明行寺」vol.23 @明行寺 ※定員：先着20名、お申込期限：11/12（日）
- 11月27日（月）10時～ 下期門徒会費収納会・役員会議 @明行寺 ※役員方と収納ご担当の講中方はこの時間にお参りください

〔住職の出張予定〕 10/23～25 布教研修 @鹿児島、11/7・8 お取次 @明楽寺（鹿児島市）、
11/16・17 お取次 @Flying Books（東京都）

>> 裏面につづく >>



松尾会長・久保副会長・米田役員と地域の講中方や建設委員によるお蔭様の会議運営

2020年7月豪雨により明行寺本堂の大屋根に雨漏りが発覚しました。門徒会にて改修委員会を立ち上げ、工事に向けての具体的な協議が始まっています。委員会の第1回目では、地域代表の委員・役員・住職等総勢26名が顔を合わせ、現況報告や調査で発覚した課題、各社の見積りを確認し、施工を田中建設様（みやま市瀬高町）にお願いすることが決定しました。2回目の会議では、田中建設の田中社長をお呼びし、具体的な施工内容のご説明をいただいたうえで、委員会

会からの質疑応答を行いました。第3回目は、各ご門徒にご説明すべく地域別説明会の日程を決め、ご懇志の考え方・募り方を協議。一人ひとりが当事者として参加する前向きな議論の場となりました。9月から各地域の公民館や明行寺本堂にて説明会を開催しています。第1～3回の建設委員会の詳細な議事録をお配りし、そもそもお寺とは何か、なぜ受け継いでいくのか、個別に必要な配慮やこれからの在り方など、様々なお声を頂戴しています。すべての説明会を終えた後、第4回の改修委員会を開催し、ご意見を集約して以降の具体的な対応に反映して参ります。あとさん講のみなさまや地域の説明会に参加できなかった方は、10月22日（日）14時から明行寺本堂にて、ご一緒くだされば幸いです。「なぜお寺の改修にウチがお金を出すのか」子・孫世代からの問いに対して、その理由が説明できなくなったとき、明行寺は役目を終えるのかもしれませんが、しかし、まだその時ではないと感じています。周知結集し、よろこびあえるご縁となるよう精進して参ります。



コラム 「らしさという イメージに しばられて」・・・2/3

「らしさ」の縛り

今回のカルタの句は「らしさという イメージに しばられて」です。絵では女性のウエストがぎゅうぎゅうに絞られています。こんなに細くされたら、苦しいに違いありません。それでも無理して細く見られるようにするのはなぜでしょうか。縛っているのは誰でしょうか。自分でしょうか、それとも他人でしょうか。子どもが育っていく時に「女らしさ・男らしさ」という意識が初めて形成されるのは家庭だと言われています。赤のランドセルを欲しいと言っている男の子は、私たち大人世代がすでに身に付けている「らしさ」の縛りから自由な世界に生きているのだと思います。

常識と偏見

さて、冒頭のなぞなぞの答えはわかったでしょうか。答えは「男の子の母親が外科医」なのです。答えを知ってしまえば、なるほどそういうことかと思うのですが、私は初めてこのなぞなぞを聞いた時、答えがわかりませんでした。わからないにはわからない理由があります。それは私達が外科医と言えば男性を連想してしまうからです。いつの間にか外科医＝男性という常識が私たちの頭に出来上がってはいないでしょうか。アインシュタインは「常識とは人が18歳までに積み上げてきた偏見である」と言っています。変人と言われたアインシュタインならではの言葉です。

>>続きは次回、12月の「明行寺新聞」で!



女と男のナムアミダブツ
藤場芳子

藤場芳子師 「女（ひと）と男（ひと）のナムアミダブツ」

1954年生まれ。真宗大谷派常讚寺副住職。解放運動推進本部「女性室」元スタッフ。同朋会館教導。真宗本廟教化教導。坊守（智美）が仏教とジェンダーについて学ぶなかでご縁を賜り、ご著作から明行寺新聞のコラムに掲載している。

明行寺HP



Instagramで
お朝勤配信
（毎朝6時半～）



うたう
明行寺

公式LINE



お気軽に!